

中期経営計画「One2025」

# 中期経営計画の概要と進捗状況

2023年4月に策定した中期経営計画「One2025(ワンニーゼロニーゴー)」に基づき、事業と組織の変革・変質を推進し企業価値のさらなる向上を目指します。

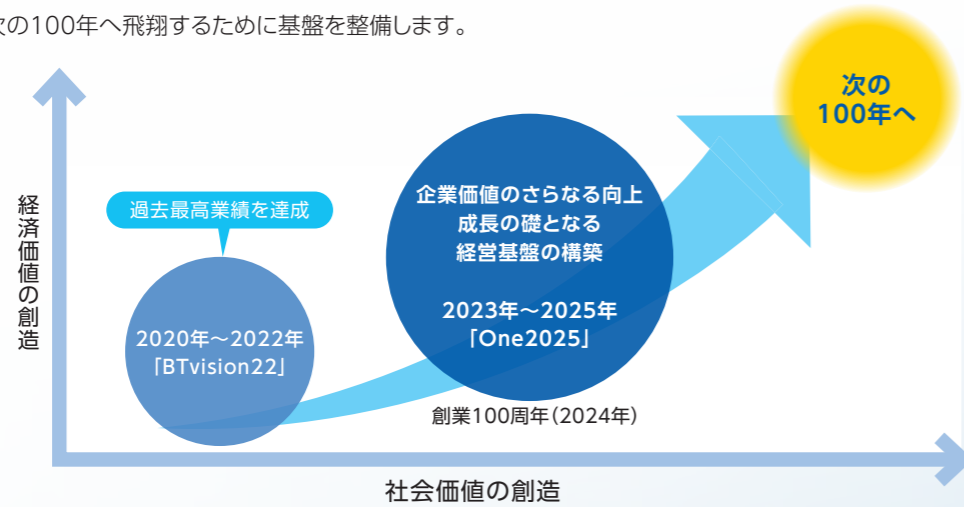


「基本理念」となる4つの「One」は当社ウェブサイトをご覧ください

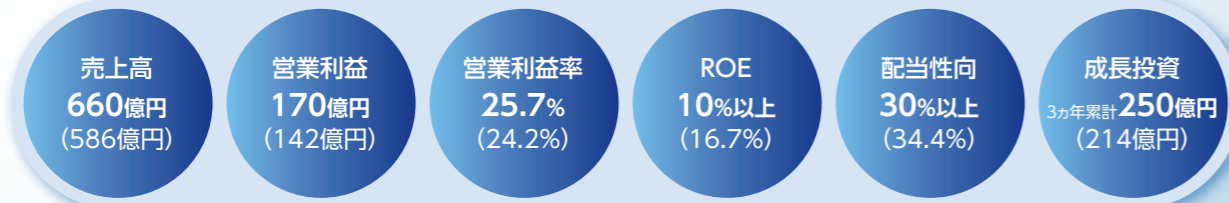


## 「One2025」の位置付け

大きな節目となる創業100周年を迎える「One2025」において、当社グループは企業価値(経済価値×社会価値)のさらなる向上を目指します。経済価値の創造と持続可能な社会の実現を両立させ、次の100年へ飛翔するために基盤を整備します。



### 2025年度目標(2023年度実績)



## 「One2025」基本方針(全社方針)

2024年に迎えた創業100周年を通過点とし、次の100年に向けて、以下の5つの基本方針のもとで事業と組織の変革及び変質を推し進め、企業価値のさらなる向上につなげます。

- 1 コア事業の進化** コア事業領域のさらなる競争力強化だけでなく、コア技術による領域拡大に伴う成長の実現、市況に左右されない進化を経て、提供する経済価値をさらに拡大成長
- 2 グローバル競争力の強化** 独自性の高い基盤技術の展開と、エリア特性への対応力を強化し、グローバルシェアを拡大
- 3 新規事業基盤の創造** 半導体市場や水素・アンモニア等の成長市場において独自技術やM&A、産官学連携を通して新たな事業基盤を創造
- 4 サステナブル経営の発展** ESG施策に加え、人財への投資と生産性向上等に寄与するDXを活用することでサステナブル経営のさらなる発展
- 5 成長を支える財務戦略** キャッシュ・フロー創出力を高め、さらなる成長への投資と配当性向30%以上を目標とした成長をけん引する財務戦略の推進

## 「One2025」事業戦略の進捗概要

- 1 コア事業の進化** 福知山事業所第2工場の竣工・稼働により生産能力が向上  
タンケンシールセーコウをグループ会社化し事業規模を拡大
- 2 グローバル競争力の強化** Pillar Technology (Chuzhou) Co., Ltd.での生産品目拡大  
新たな販売拠点として北京事務所を開設
- 3 新規事業基盤の創造** 三田工場イノベーションセンター竣工により、当社グループの英知を集結  
水素・EV・次世代電池・医療・医薬をターゲットとした市場調査や製品開発・PR実施
- 4 サステナブル経営の発展** 方針・戦略・主要KPI・具体的施策など人財戦略を再整備  
CDPスコアUP(B→B)、TCFD開示の拡充など気候変動対応を高度化
- 5 成長を支える財務戦略** 福知山事業所第2工場、三田工場イノベーションセンター、タンケンシールセーコウのグループ会社化などの大型の成長投資を実施  
当社初の取り組みとなるグリーンボンドの発行

## 中期経営計画事業目標と実績

「One2025」初年度となる2023年度は、売上高・営業利益ともに過去最高を更新と好スタートをきることができました。新工場建設に伴う償却負担や、材料値上げに伴う利益率の低下など懸念事項はありますが、販売増・為替・価格転嫁などにより計画達成に向けて邁進していきます。

### 連結

(単位：百万円)

	BTvision22	One2025			2023年度実績
	2022年度実績	2025年度目標	増減額	増減率(%)	
売上高	48,702	66,000	17,298	35.5	58,605
営業利益	13,842	17,000	3,158	22.8	14,206
営業利益率	28.4%	25.7%	-2.7P	-	24.2%
ROE	18.6%	10%以上	-	-	16.7%
配当性向	30.0%	30%以上	-	-	34.4%
成長投資	(3ヵ年累計)3,715	(3ヵ年累計)25,000	21,285	672.9	21,415
<b>■ セグメント別</b>					
<b>電子機器関連事業</b>					
売上高	36,819	48,000	11,181	30.3	40,475
営業利益	11,759	14,500	2,741	23.3	11,255
<b>産業機器関連事業</b>					
売上高	11,844	18,000	6,156	51.9	18,093
営業利益	2,059	2,500	441	21.4	2,928

## サステナブル経営の発展

当社グループは、事業を通じてサステナブル社会への貢献と、持続的な企業価値向上の実現に向けて取り組みを強化しています。

### サステナブル基本方針

私たちPILLARグループは、社是・PILLAR CORE VALUESに基づき、事業を通じてサステナブル社会への貢献と、持続的な企業価値向上を実現してまいります。

#### (1) 事業を通じた地球環境への貢献

私たちは、独創的で高品質な製品を社会に提供することにより、豊かな地球環境創りに貢献します。また、事業活動の過程で発生する環境負荷物質の低減に努めます。

#### (2) 社会に対する責任と貢献

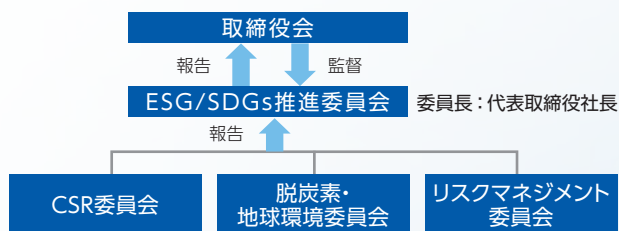
私たちは、「企業は社会の一員」であることを自覚し、社会課題の解決に貢献します。また、すべてのステークホルダーとの対話を通じ、信頼され続ける企業を目指します。

#### (3) コーポレートガバナンスの強化

私たちは、事業活動の原点であるグループ行動指針や法令遵守を徹底し、健全で透明性の高い経営を推進するため強固なガバナンス体制を構築していきます。

## サステナビリティの推進体制

### サステナビリティの推進体制



### ESG/SDGs推進委員会

代表取締役社長を委員長として、サステナビリティに関連する委員会の上位組織として設置しています。原則四半期ごとに開催し、全社的な活動方針の決定や各委員会活動のモニタリングを行っています。当委員会が審議した内容は取締役会にも定期的に報告しています。

### CSR委員会

社会から信頼される企業であり続けるために、社会的課題の解決や地域社会への貢献に関わる活動計画の立案や、活動実績を把握するために設置しています。

### 脱炭素・地球環境委員会

事業活動における脱炭素や環境保全の活動推進及び適切な管理・監督を実施するために設置しています。ISO14001対応の他、気候変動や水資源保全、廃棄物削減などについて年度目標を設定し、削減活動に取り組んでいます。

### リスクマネジメント委員会

多様化するリスクを最小化すべく、当委員会にて、当社における重要リスクの抽出・分析・評価を行い、リスク対策の策定、重要リスクの顕在化に伴う対策や再発防止策などを検討しています。

## 「One2025」非財務項目 重点目標

### 重点目標

### 環境貢献

- 1 Scope1,2でのGHG排出量を、2013年度比で25%削減を実現する
- 2 PRTR法に基づく指定化学物質のうち、3物質の使用を全廃する
- 3 CDPスコア「B」以上の獲得と維持を実現する

### 重点目標

### 人財活躍／組織成長

- 4 女性管理職比率5%以上を実現する
- 5 男性育休取得率75%以上を実現する
- 6 1人当たり人財育成投資額を20%向上する
- 7 多様な人財活用に関するマネジメント研修を実行する
- 8 DX人財育成に、実務ツールの活用習得研修を実行する
- 9 デジタルツールを活用し、専門スキルの継承、高度習得の効率化を実行する